

「アジアの今、アジアの現
場」
～マレーシア編～
ASEANの新たなハブ拠点 マレーシアの魅力

実践アジア社長塾オンライン講座
第14回特別公開講義
2021年6月29日

実践アジア社長塾オンライン講座
第14回特別公開講義

今回は「アジアの今、アジアの現場 マレーシア編」について、マレーシアの歴史を追って、皆さんにご紹介したいと思います。

自己紹介

- 1992年
マレーシア政府派遣留学生として来日
大阪 関西国際学友会 日本語学校
- 1993年
奈良工業高等専門学校
情報工学科に編入
- 1996年
九州工業大学
情報工学部電子情報工学科に編入
- 1998年
九州工業大学大学院
情報工学研究科情報システム専攻に進学
- 2000年
九州工業大学大学院
情報工学研究科情報システム専攻を修了

まず、自己紹介させてください。私はリムと申します。

1992年、マレーシア政府のルックイースト政策、つまりマレーシアから東にある日本を見て学べという政策で、マレーシア政府派遣留学生として来日しました。

日本語学校を経て、奈良高専に編入し、のち九工大学部から編入して、最終的に九工大の大学院の修士過程で卒業しました。

W.Y. LIM (りむ)

Founder & Director
Global Business Development



L&L CONSULTANT

HP : +81 9074521432 (JP)
+60 104011168 (MY)

EMAIL : weeyee.lim@gmail.com

FB : WeeYee Lim

"Life is all about being in the right place at the right time."

福岡とクアラルンプールを拠点に、皆さんのマレーシア進出や販路開拓、移住などサポートをしております。



これからマレーシアについて、ご紹介したいと思います。

まずは大雑把に概要から、地理的にユーラシア大陸の陸続きの最南端に位置しています。サツマイモの形をしているマレー半島はタイとシンガポール、ボルネオ島ではインドネシアとブルネイの国境隣接しています。両方の面積を合わせると日本の約9割弱、マレー半島が全体の4割、ボルネオ島が6割の面積を占めています。

日本から直行便で約6時間です。

赤道の熱帯雨林気候 雨が降れば秋の感覚、太陽が照れば夏の感覚。1年を通して、気温は一日23°Cから 32°Cに変化します。

マレーシアは自然豊かな国です。太古の熱帯雨林や東南アジア最高峰のキナバル山（約4100m）は、ボルネオ島の北部サバ州にあります。熱帯国家ですが、時々山頂は雪が積もることがあります。

首都はクアラ・ Lumpur、通称KL。かつては錫採掘でできた町です。

「泥（lumpur）が合流する場所（kuala）」が地名を因んでいます。

ブトラジャヤはマレーシアの新行政都市、東京の霞が関みたいで政府の省庁が集まりできた町です。後程詳しく紹介します。

最初に、マラッカ海峡にお馴染みのマラッカ古都について、少しマレーシアの歴史を追って説明して行きたいと思います。



こちらは14世紀、世界初となる鄭和の大艦隊の航海図です。

当時港都市として栄えたマラッカ王国は東西の重要な貿易港となっていました。

鄭和は侵略や植民地はせず、その土地で貿易をしました。のち、鄭和の航海技術が西洋に売られ、欧米列強の大航海時代の始まりになりました。



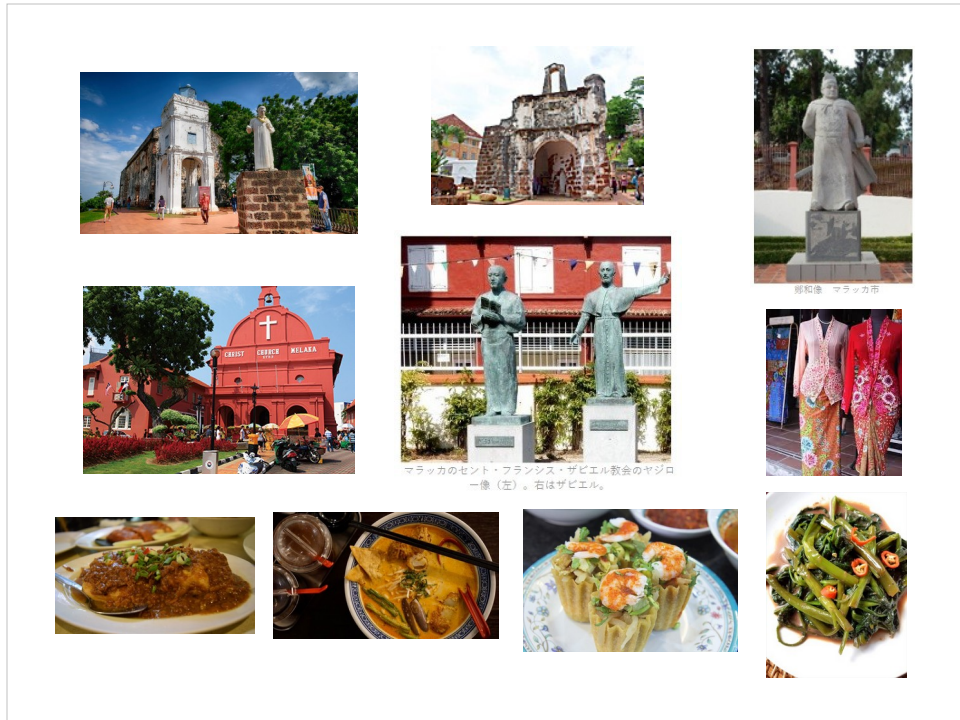
15世紀半ば、時は大航海時代。マラッカ王国は東西交易に欠かせない重要な海洋拠点でした。従来のアラブ商人経由の香辛料取引を直接交易による利益を独占しようとしたポルトガル。マラッカを侵攻し、植民地として占領しました。

17世紀半ば、オランダがポルトガル領のマラッカを侵略し、オランダの植民地となりました。

それから、18世紀半ばイギリスが東インド会社を設立し、マレー半島のペナンとシンガポールを港町にしました。

のち、19世紀半ば 英蘭協定によりマラッカ海峡をはさみ東側（現：マレーシア）を英国領、そして西側（現：インドネシア）がオランダ領となりました。

マラッカはこうして東西交易の要として、欧米列強の植民地となってきました。



第一次移民ブームは鄭和の大航海から始まり、その為、当時のマラッカ王国は既に多様性民族を形成していました。アラブ商人や、中華系とマレー系で結婚して生まれたプラナカン、マレー語で「ご当地で生まれた」を意味し、国際豊かな町になっていました。

その後、イギリスによってペナンやシンガポールと言った港町を開拓し、多くのプラナカンが拡散しました。プラナカンの子孫はババ・ニョニヤと言います。ババは男の人、ニョニヤは女の人です。

ニョニヤ料理は元中華料理をマレーの香辛料、辛味噌や唐辛子をたっぷり使って有名です。また、ニョニヤ服は中華とマレーをデザインした服装です。

それぞれの植民地時代や鄭和の大航海時代に残された建物や文化が現在も数多くマラッカ市内にありました。写真のように鄭和の銅像やポルトガルのファモサ要塞跡やオランダ広場にある赤色の教会などが今でも保存されています。

因みに、日本のキリスト教はマラッカから伝わりました。当時、フランシスコ・ザビエルがマラッカでポルトガル要塞の丘の上にあるセントポール教会でキリスト教の宣教をはじめました。この頃、薩摩の国出身の元武士「ヤジロウ」と出会いザビエルは日本での布教を決心しました。現在、マラッカ市内にあるマレーシア最古のキリスト教会、セント・フランシス・ザビエル教会があり、その庭でヤジロウの銅像がありました。

皆さん、コロナ後機会があれば是非古都マラッカを訪ねてみて下さい。



イギリス植民地時代、当時のイギリスは産業革命が起こし、錫とゴムの需要が高まり、錫採掘の為に、勤労で優秀な中国人中国南方からたくさん呼び込みました。

また、ゴムプランテーションの為に、インドの南方からたくさんのインド人を呼び込みました。これが第二次移民ブームを形成しました。イギリス人は賢いので、植民地当時みんなが反乱させない為、マレー系は田舎に暮らし、中華系は錫採掘でできた町や貿易の為港都市で暮らせ、インド系はゴム農園内でそれぞれ暮らし場所を分けられました。

写真上段左からはマレー系、中華系とインド系の家屋です。現在の都会暮らし大分変わりました。下段は工場の形にしている錫採掘船とゴムプランテーションのワーカーです。

マレーの虎（HARIMAU）



皆さん、快傑ハリマウにお馴染みの「マレーの虎」ご存じですか？

そう、戦時中山本将軍のことです。実は真珠湾攻撃よりも1時間以上前にマレー半島の東海岸のコタバルに上陸しました。しかし、マレーシアやシンガポールは戦争債を追求しない、世界でも有数の親日国家です。

その為、冒頭でご紹介した東方政策（日本を見て学べ）が実現でき、今年で39周年になり、多くの留学生を輩出できました。



1957年、イギリスから独立し、マレーシアの多民族国家を形成しました。
現在のマレーシアの三大民族となり、
マレー系 6割くらい
中華系 3割くらい
インド系 1割くらい
(写真はそれぞれ三大民族の子供たち)

歴史からみてきた古くからの多種多様な土台ができ、受け入れの器ができています。現在でも外国人や移民を受け入れやすい、暮らしやすいです。
私の仕事関係で、日本の士業グループ（弁護士、弁理士、税理士など）、マレーシアに案内したとき、彼らは多くの外国を訪ね、初めてマレーシアにきた時、口を揃えて言ってくれた言葉がありました。
「自分が外国人であることを感じない」



マレー系のマレーシア人はほぼ100%イスラム教徒です。そのためマレーシアの国教はイスラム教とされていますが、中国系は仏教、インド系はヒンズー教を信仰していることが多く、キリスト教も多いです。多民族国家であるマレーシアは信教の自由も認められている国です。写真の時計回りはマスク、中華寺院、インド寺院とキリスト教会です。

国民はお互いの宗教や文化を尊重、カレンダーには三大文化の祭日が定められています。もちろんクリスマスも国民の休日です。ほぼ世界の宗教が混在していますが、宗教間の争いがなく、世界でも類を見ない平和の国です。

因みに、イスラム教は4人の奥さんが認めています。但し条件は財力と体力が必要、みんな平等で接しなければなりません。また、順位が上の奥さんの同意が必要です。該当できそうな人、是非マレーシアで！



学校教育も自由です。

中華学校：中国語（主）、英語、マレー語（私立の場合、中国語のみ）

マレー学校：マレー語（主）、英語

タミル学校：タミル語（主）、英語、マレー語

英語学校：英語のみ（バナナマン）

インターナショナル学校も多くあります。日本人学校はKLとペナンにあります。子供たちは好きな学校で勉強することができます。

私は中華学校で、小学校6年間通いました。一年生の時から、英語、マレー語、中国語を一遍に学びます。このように多言語教育が形成します。

社会において、マスメディアもそれぞれの言語で放送、ニュース番組は三大民族の言語と英語で放送。アメリカ映画や香港映画など吹替え無しでオリジナルのままで放送。このような環境で、マレーシア人材は多言語を自由に話します。一般的に4つ以上。

現在、海外の名門校がマレーシアで拠点を作ることによって、マレーシア教育移住が増えてきました。因みに、九工大はマレーシアにも分校があります。また、最近進出が決まったのが筑波大学です。



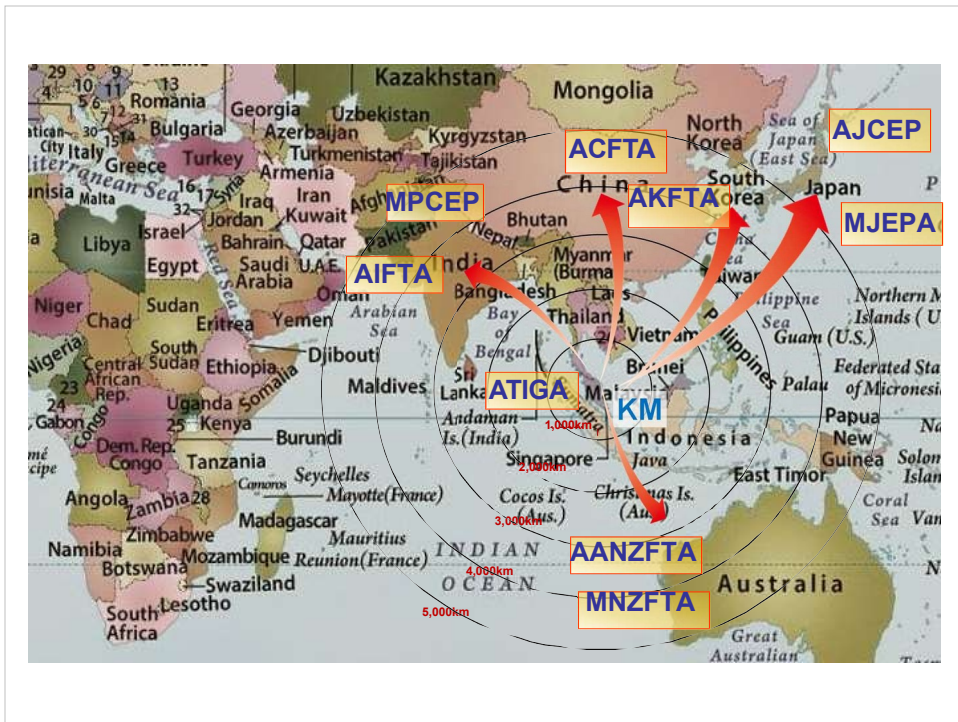
食文化も多種多様
 本場中華料理
 本場マレー料理
 本場インド料理
 冒頭で説明したニョニャ料理などなどたくさんあり、毎日外食しても飽きないです。

因みに、マレーシア人は外食文化です。厨房は店にあるって感じ。食事は安いです。多種多様な料理、飽きない、きっと口に合う料理はあります。特に中華は出汁系、代表的なマレーシア中華は肉骨茶。

中華系は箸文化。マレーとインドは手で食べる。

日本の「こんにちは」などと一緒に、挨拶代わりにポピュラーな挨拶は、「Sudah makan? (ご飯食べましたか?)」

MILOは国民食（子供の時から植え付けられた、無償で学校で配りました）。マレーシアに進出したキューピーも現在、同様な普及活動中。



ここから少しビジネスの話をします。

歴史から東西貿易拠点の要であり、アジアの貿易の中心地域にもあります。現在は様々な貿易優遇策があり、既に14個の自由貿易協定（FTA）を結んでいます。

本日、マレーシア投資開発庁の方も参加されていますので、後程日系企業のマレーシア進出に関して、マレーシア政府が用意しているインセンティブなど、ご紹介できると思います。



先程の世界地図にもありますように、マレーシアを含む東南アジアの十か国が一つの経済圏にくくって、ASEAN（つまり、東南アジア諸国連合）を作りました。総人口は6.2億人、中国とインドに次ぎ世界第3位の市場です。

ASEANは世界の直接投資（FDI）の11%を引き付け、総GDPは2兆4000億ドルに達する経済圏となりました。年間平均成長率5%以上、平均年齢 29.歳と、今後の経済成長に大変期待がかかっています。地図をみると、マレーシアはASEANの中心であり、地政学的に大変優位性を持っています。

また、マレーシアの三大民族が近隣諸国のゲートウェアにもなっています。

マレー系：インドネシア、中東

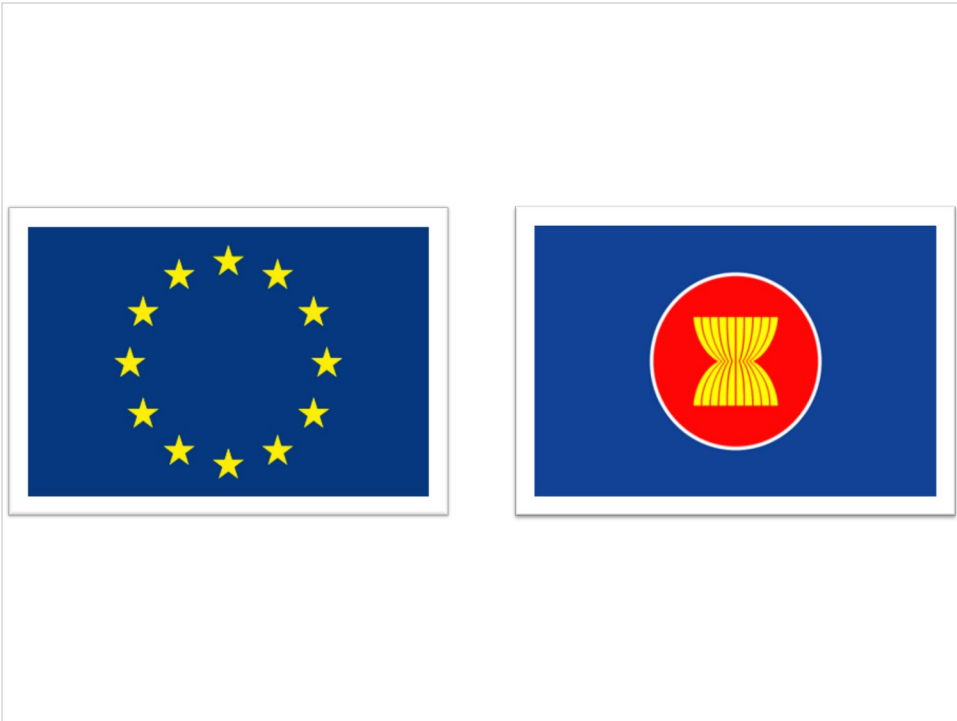
中華系：中国

インド系：インド

加えて、語学堪能からグローバル人材としての優位性も非常に高い。ご参考までマレーシアに進出している欧米諸国の企業は、ASEANの商習慣にも精通しているマレーシア人材をよく管理層に起用しています。

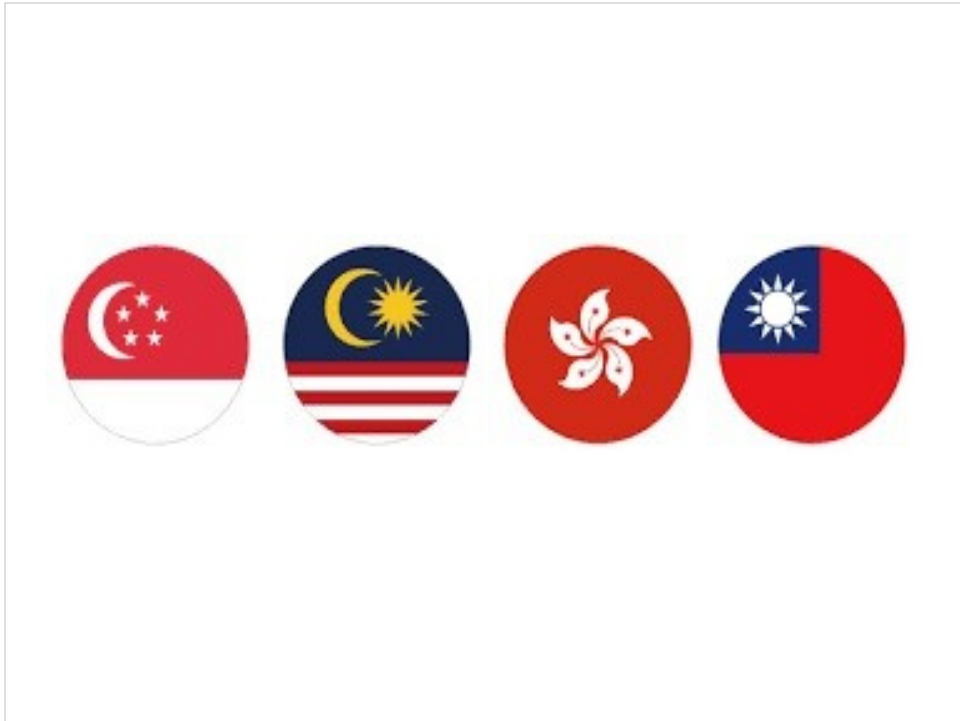
ここで、皆さんの意見を是非聞きたいです。

今の日系企業はASEAN対して何を感じていて、またビジネスを容易にしているためにどんな改善を必要としていますか？是非最後の質疑応答部にコメントをいただければ幸いです。



さらに、ASEANはAECを発足しました。AECはASEAN10ヶ国で構成する経済共同体です。言い換えれば、東南アジア版のEUです。2015年12月31日時点での発足に関するクアランプール宣言がASEAN各国首脳により署名された。ASEAN域内の物品関税が99%の品目数で既にゼロとなるなど高水準のモノの自由化を達成し、今後ますます活発な経済交流が期待されます。

AECとEUの違いについて、まず、共通通貨はしないです。EU域内の諸国は陸続きに対し、AECは一部島国となっています。そこで、近年マレーシア・インドネシア大橋を掛けよよという壮大な構想が浮かびました。



もう一つ、マレーシアは中華経済圏の一つにもなっています。

通称、「星馬港台」、つまり中国語が話せる中国大陸以外のシンガポール、マレーシア、香港と台湾をまとめた市場です。古くから新曲や映画、雑誌や物販はこちらの4か国に同時発売していました。

また、日本からのものは香港、台湾を経由してマレーシアとシンガポールの市場展開しました。



少しシンガポールのことについて、話します。マレーシアとシンガポールは兄弟国家です。

1957年、イギリスから独立した当時、マラヤ連邦として一つの国でした。1965年、マラヤ連邦から独立し、マレーシアとシンガポールを別々の国にしました。島内で住んでいる人の大半はマレーシアにも親戚がいます。私の同級生の半分以上が今シンガポールで住んでいます。私の弟もJB在住で、毎日シンガポールに通勤していました。（コロナ禍前ですね）

東京でいうと、近隣ベッドタウンから出勤するみたいな感覚です。もちろん、通学する人もいます。路線バスも走っています。もちろん、ファーストフードのドライブスルー感覚で、車やバイクでの入出国も可能です。日本の橋が架かっています。

2026年には、シンガポールの地下鉄がJBに乗り入りするプロジェクトがあります。物価の額面は同じ、為替はシンガポール：マレーシアで1：3です。



少し古い情報ですが、インフラについてお話ししたいと思います。クアラルンプール市内の地下鉄第一号線は開通しました。現在第二号の工事中です。第三号まであります。

マレー半島高速鉄道も開通され、全線電化しました。将来的には国際電車を走らせる構想です。

KL・シンガポールの新幹線計画は中止しましたが、私は将来は復活すると思います。因みに、KL・バンコク新幹線構想もありました。

高速道路について、マレーシアは80年代早期から、雰囲気は日本と変わらない、北は南北回廊と接続、中国の昆明市まで繋げました。これがAH2、アシアンハイウェイ2号です。

因みに、アシアンハイウェイ1号、AH1は現代版シルクロードで、起点は東京日本橋です。福岡の都市高速もAH1です。高速道路の柱にAH1と書かれていますので、探してみてください。

インターネット環境も90年代後半から整備され、MSCが完成され、15TB級の海底ケーブルは日本と直通。



第2クアラルンプール国際空港、KLIA2は世界初のLCC専用空港です。

AirAsiaの本拠地にもあります。日本との直行便は福岡、大阪、東京と北海道で飛んでいます。現在コロナ禍で運休中です。運賃は日本・マレーシア間で1万円強（片道）。「ASEAN PASS」という回数券があり、10枚つづりでRM500です。KLを発着で、ASEAN域内で片道RM50（約2500円）で飛べます。

因みに、私の知人が金曜日飛んで、土日はクアラルンプールで過ごし、月曜日早朝に戻ってから仕事直行をやっている人がいました。

その他、最新情報として、現在、マレー半島の北部にKULIM国際空港（マレーシア最大）を建設する予定です。スマートシティ（5箇所）

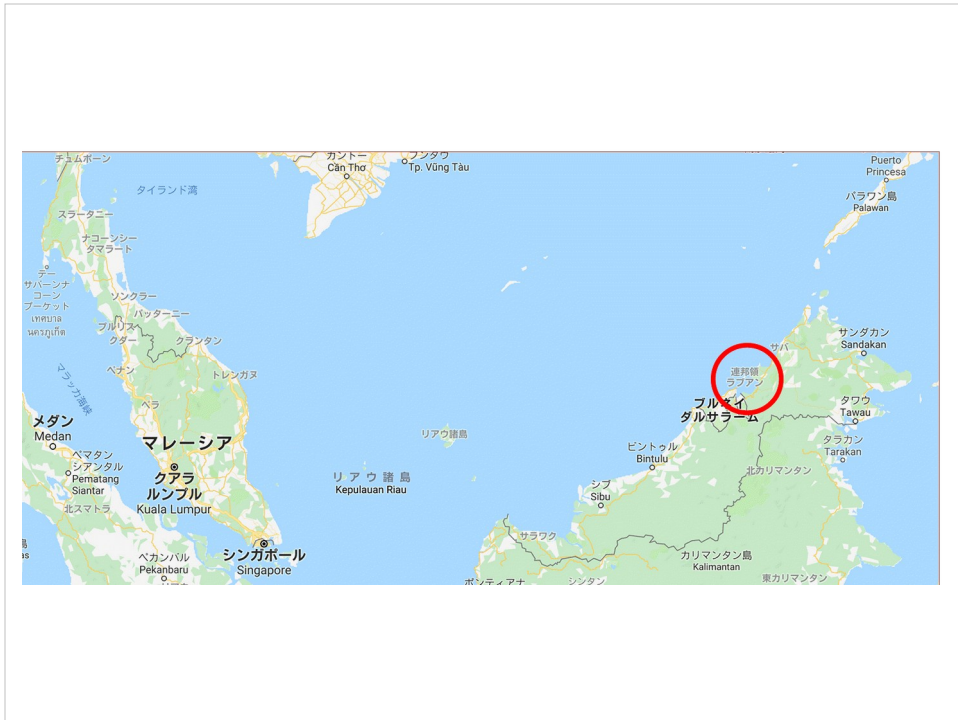


マレーシアに進出したメジャーな日系企業です。現在全体で1400社くらいです。

特に早期から誘致したAEONは60店舗以上あります。JUSCO時代から浸透し、地元民は現地スーパーと勘違い程です。日本の食材も簡単に手には入れます。

マレーシアで会社設立するのは非常に透明化が高いです。早いところは1週間以内でできます。RM2からできます。100%外資でも可能です。

コロナ禍でも、スペシャルプログラムMy Safe Travelで渡航し、隔離なしの2週間以内の短期現地視察は可能です。因みに、全行程は美人CAが同伴します。事前質問にあったBUMIPUTRA政策について、あまり企業活動に影響がないです。



日本人が知らないアジアのタックスヘイブン=「マレーシアのラバアン島」

- 「事業取引会社」の法人税率：3%（以前は一律2万リンギットという選択肢もありました）
- 「持株会社」の法人税率：0%（完全非課税）



最後にマレーシア移住するためのスペシャルビザについてご紹介します。本ビザは現在コロナ禍で、新規申請がストップしています。ここで以前の条件について、説明します。

日本人が海外に移住したい国14年間つづいてナンバー1に選ぶのがマレーシアです。このMM2Hが魅力的です。このビザを所持しても、一年間0日住んでいなくてもOKです。条件として、51才以上は定期預金が500万円必要、51才以下の場合は1000万円が必要です。マレーシアの銀行定期預金はまだ金利4%以上あります。

事前質問にあるマレーシアの悪い点について、ここで回答します。

よく言われるのがタクシーのぼったくりです。しかし、GRABの普及によるほぼこの問題はあまり聞かなくなりました。GRABは携帯アプリの配車サービスです。あたかも自分のプライベートドライバーのように、必要な時に、必要な場所に、確実に迎えてきます。しかも、車種指定が可能です。大きい車とか、豪華なくるまとか。また、運賃は乗る前にシステムが距離などに応じて決めますので安心です。



日本のサービス業は結構進出しています。
宅急便、コンビニ、スーパーやデパート、レストランなど。因みに、ショッピングモールは必ず和食レストランがあります。老舗の天井、日本式コンビニ、リョーユーパン、お菓子メーカーの石田老舗。

事前にいただいた質問ですが、ここで回答致します。

美容、エステも結構ありますが、眉毛、ネイルはあまりないです。

また、マレーシアは世界でも有数なネットワークビジネスが盛んなところ
です。特に健康食品は意識が高く、日本の健康食品がすごく注目されていま
す。

最近マレーシア側から上がったリクエストとして、日本の薬局で売ってい
る美容商品や健康食品のマレーシア進出をして欲しいとの要望がありまし
た。



医療事情について、日本語対応の病院や、日本人スタッフがいる病院は結構あります。また、日本式のクリニックもあります。

日本の国民健康保険はかかった費用を後日、日本の役所で2年以内で請求申請すれば、7割戻ってきます。

マレー語
人はおらん (ORANG)
魚はいかん (IKAN)
ご飯はなし (NASI)
菓子はくえ (KUE)

日本人にとって、マレー語は習いやすい。
実は、日本語のローマ字読みそのままでの発音になります。

Terima Kasih !



KLのツインタワー周辺の写真です。

ツインタワーにしては世界一の高さです。片方は88階建てで452mです。二つ重ねたら約1km弱です。ツインタワーは主に企業が入居され、地上階はショッピングモールや世界的にも人気あるオーケストラホールです。主にガラスとステンレスでできて、夜のライトアップ時、遠くから眺めるとクリスタルのように光ります。

その奥はKLタワーです。通信塔ですが、421mのコンクリート塔として世界一の高さです。最上階は展望台と360度の回転レストランがあり、KL市内を一周眺めます。

また、近くにできた金融センターは108階の超高層ビルです。

更に現在建設中の新たな商業ビルは118階建てです。もうすぐ完成しますので、皆さんも是非KLを訪ねて見て下さい。

Terima Kasih!